



研 修 報 告 書

令和 4年 5月20日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員 渡辺 一照

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和 4年 5月13日 (金)

2. 研修項目

全国地方議会サミット2022

3. 参加議員

渡辺 一照

■研修項目

多様な議員，参画，政策形成について

・研修団体及び講師氏名

早稲田大学マニユフェスト研究所事務局長

講師 中村 健 ほか

・研修日

令和4年5月13日（金）10時～16時

【研修目的】

地方議会には、新型コロナウイルス感染症をはじめ多様な課題が、つきつけられ、また多様な意見が生まれてきています。

この多様な意見の集約を行い、それを総括して政策への反映が求められている状況です。

デジタル活用においては、全国の先進的な議会を取り上げての研修及び全国市議会議長会による参考事例の紹介等で向上を図っています。

男女共同参画の推進や議会の多様性の認識についても整備・検討がなされています。

上記の件を中心に、各専門家の意見等を聞いていく「全国地方議会サミット」です。

【研修内容】

「Z世代にも届く！デジタルを活用した広報・広聴」

株式会社 POTETO の代表者の古井氏より PR のパートナーとして行政や政治家のメッセージや発信を、有権者にわかりやすく届けるかが問題ですという定義をされました。

そのために、政治家等が社会に訴えたいビジョンや政策などをヒアリングさせていただき、ブランディングから PR の戦略立案、各種イベントを含む企画などを協力していく事業を展開しているそうです。

これまで、数十名を超える政治家の PR のパートナーとして、政治をわかりやすく有権者に届けるため与野党や選挙の形を問わずかかわらせていただいています。Z世代に政治をもっと知ってもらうことで、見えてくる選択肢があります。何かを解決すべく、今日も動き続ける政治の世界。そこには正解はなく、社会課題を解決するための無数の選択肢がテーブルの上におかれています。しかし、Z世代の有権

者は社会課題の当事者であるにも関わらず、その背景や本質、選択肢はほとんどと言っていいほど注目していません。

その原因を、私たちはこう考えます。政治を知ることのハードルが高いために、発信者と受信者の望む「情報の形」がマッチしていないからだ、と。

「政治」側は社会課題の問題点などを簡潔に説明することが立場上難しく、また「見る人」を意識していないので、「政治」側が発信する情報は伝わりにくいという現状があります。

一方で、「政治」と「有権者」をつなぐ役割を担う「メディア」も万能とは言えないのが現状です。

今は、情報のほとんどをネットから得られる時代です。しかし大手報道機関は発信のメインの領域を「紙」や「地上波」に注力せざるを得ず、ネットファースト層向けの発信に舵を切りきれない現状です。

Z世代の注目をいかに惹きつけていくかが重要になってきます。いずれは、Z世代も40代・50代となりこの日本を引っ張っていかざるを得ないということを理解してもらわざるを得ないからです。

【呉市での展開の可能性】

Z世代の理解を深める事が重要だと思われる。Z世代はスマホやSNSを常にご利用するため、デジタルでいかに接触し、アピールするかが重要になります。動画コンテンツに慣れているため、文字ばかりで解説するより、音声やアニメなどを使って分かりやすくするほうが受け入れられやすいそうです。その一方でZ世代は経済的に保守的な傾向も見られるので、コスパやタムパを重視する傾向があるため、費用を支払うだけのメリットが十分あることを明示することが大切です。インターネットで情報を探することはよくありますが、SNSで情報を得ることが多い傾向です。SNSに慣れているので、自分の考えを発信することに抵抗感がなく、SNSのつながりをリアルの人間関係と同じく大切なものと考えています。個人情報への警戒心は強く、本名を公開して親にみつける「Facebook」よりも匿名性の高いSNSの方が人気があるようです。このようなZ世代の事を理解しながら、アクションを送り続けないといけないと思われれます。